

教育者研究会で学びました!

平成24年8月7日(火)第49回教育者研究会の岐阜県3会場の内、各務原会場に参加しました。会場は各務原市立中央図書館4階多目的ホールです。午後1時の開会に合わせ、神谷副会長の車に同乗した森理事と小生は、同館での昼食バイキングを味わいました。

今回は、大野琴美教諭の実践発表を応援するため、林顧問、北村会計、北方中・吉田教諭も参加してくださいました。会場はメモ台付き椅子で、昨年度の反省が活かされているのを感じました。

開会式は、国歌斉唱の後、岐阜県モラロジー協議会古川定邑会長のご挨拶、(財)モラロジー研究所東海ブロック・平林正幸部長による主催者挨拶がありました。また、地元を代表して、高根教育長の教育現場を支える力強いご挨拶も心に残るものでした。

テーマは引き続き「思いやりの心を育てる」です。ご挨拶された皆様の「東日本大震災」の復興、「いじめ」問題に関する課題意識は、我々自身の「思いやる心」として、日常生活の中でいつも忘れずにもち続けるべき「心の命題」であると考えさせられました。



開会挨拶・古川会長



主催者挨拶・平林部長



来賓挨拶・高根教育長

平成24年度 教育実践発表

「新しいものをつくりだした郷土の偉人」

発表者：本巣市立外山小学校 大野 琴美 教諭

本巣生まれと伝えられる、戦国から江戸時代初期に大活躍した茶匠・古田織部の生き方を考える自作の道徳資料とその実践について、大野教諭が堂々と発表されました。

彼の人となりをも簡潔に紹介し道徳資料としてどこにスポットを当てたかを語られました。

- ① 若い頃の織部→伝来の茶道を好きになれなかった。
- ② 師である利休との別れ→師の志を継ぐのは自分しかない。

実践では、中心場面として、②が活かされています。権力者・秀吉の命令により切腹する利休を見送りに行くことは、我が身も危険になることです。それだけに「師の志を継ぐのは自分しかない」という強い決意を子どもたちが納得しやすくなります。同時に、「師の道」は、そのままでは「死の道」です。危険視もされます。「師の道」を受け継ぐことは、織部自身の独創性を加味することが必要になります。そこが、「新しいものを生み出す」ことであり、「新しいものに挑戦する」ことなのです。「別れの場面」が授業で丁寧に扱われたなら、その話合いだけでも「ねらい」に充分迫れる力があるのではないのでしょうか。



① については、実践で「深めの発問」としています。「初めから茶道の道に秀でていたわけではないこと」を扱うことで、「雲の上の偉人」のイメージではなく、子どもたちがより身近な人間と感じられるはずです。また、子どもたち自身の可能性に対する夢と希望をもつきっかけになると思います。

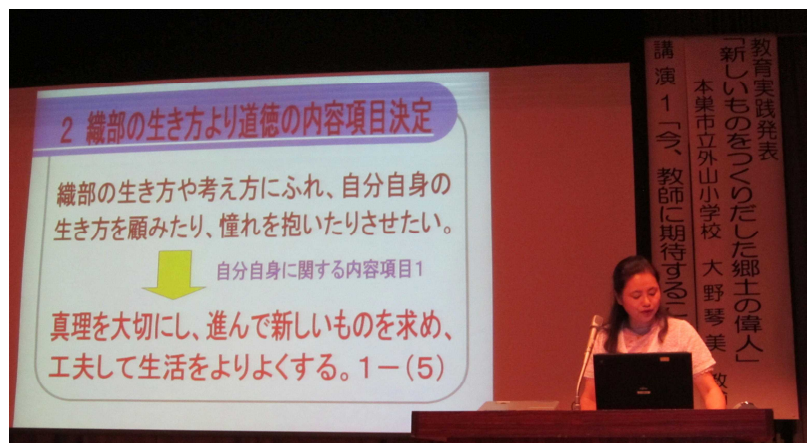
大野教諭は、その後「よりよい資料にするための工夫」について、実践を踏まえて具体的に述べられました。効果的な挿絵、補助資料、指導案等、すぐ授業実践で役立つものにして下さっております。会場で聴いてくださった方々にもよく分かる発表だったと思います。

また、平成26年度行われる全国小学校道徳教育研究大会岐阜大会の岐阜県提案の一つ「郷土資料」にも大きな貢献をしていただいたと考えます。お疲れ様でした。有難うございました。

3月の発表と比べて、主張点が明確で、かつ共感をもってもらえるものに進化しておりました。大野教諭の誠実な取組に、心から敬意を表する次第です。

後日、林顧問に伺ったお話では、3月「近代数学の父 高木貞治」を発表して下さった早川教諭が親身に協力して下さったとのことでした。大野教諭の発表は、ご自身のご努力は勿論のこと、こうした多くの仲間の支えによって成り立っていたことを改めて知りました。

もとす教道研にとりまして、3年連続で実践発表者が出て下さったことは、大変名誉なことであり、嬉しいことでありました。



第1講「今、教師に期待すること」

社会教育講師 上萩 洋三 先生

講師の先生は、現在(有)カミハギサイクル会長として会社発展にご活躍される一方、悩み深き方の人生相談や更正に貢献されております。

幼少の頃からの艱難辛苦を乗り越えた人生訓は、「徳を尊ぶこと学知金権より大なり」です。

感謝を忘れず、今日の最善を尽くす生き方が、多くの幸せを運んでくれる実体験から、「子どもたちを信頼して教師の最善を尽くせ」というメッセージが贈られました。



第2講「学校の教育活動全体で行う道徳教育と道徳の時間」

文科省初等中等教育局教科調査官 赤堀 博行 先生

講師の先生は、学校現場の道徳教育の進め方について指導しておられる方であります。

その基となる「学習指導要領」に示された道徳教育の内容を、分かりやすく説明して下さいました。はじめに、「学力調査」において明らかになってきた「子どもたちの意識」を

具体的な問いかけをして聴衆の頭脳を刺激しながら、大型スクリーンに映した文言の意図や背景について、易しく語っていただきました。「学習指導要領」の解説で「目から鱗」の刺激を受けた方も多かったことでしょう。「岐阜で行われる全国大会」については、既に予定帳に書かれ、参加の意思をおもちであることを閉会后知りました。岐阜県の道徳教育に並々ならぬ関心をもって下さっている証であります。今後のご指導も含めて、大いなる楽しみであります。

閉会式は、岐阜県教育者道徳研究会の子安会長より、今日の学びの総括をしていただきました。

閉会の挨拶 子安会長

